



○待機児童を解消!!

保育枠の定員拡大などに努めた結果、平成31年4月時点で待機児童ゼロを達成しました(厚生労働省定義)。これからも保育の質の向上と合わせ、できる限り市民ニーズに即したご利用となるよう努力して参ります。

<<待機児童解消に向けた取組み>>

- ①小規模保育事業所や私立保育所などの施設を新設し、新たな保育枠を大幅に確保しました。
  - ②私立幼稚園の認定こども園への移行を促進・支援しました。
  - ③既存民間園の改修増築による定員枠の拡大を行いました。
- ⇒この4年間(H27.4～H31.4)で、872人分の保育枠を新たに拡大しました。

<<待機児童の推移 (各年4月1日時点)>>

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
28	17	48	48	0



○幼児教育・保育の無償化って、どうなの??

市では平成29年度から世帯の所得に一切関係なく、0～5歳児の認定こども園・保育園(所)、小規模保育事業所に通う子どもの保育料・授業料(基本部分)の利用者負担額を市の負担によりゼロにしています。私立幼稚園についても世帯の所得に関係なく就園奨励費補助として30万8千円を上限に、お支払いの保育料・授業料への補助を行っています。その効果について、



無償化や充実した子育て支援が魅力で守口市に引っ越してきたよ。これからも守口市に住み続けたい!!



保育料が無料のおかげで、他の子育ての費用や習い事の費用に回すことができるようになり子育てに気持ちのゆとりが出来たわ!!

などのお声をいただいています。(「守口市の「幼児教育・保育の無償化」政策アンケート調査結果」より)

また、市内の0～5歳児や20歳台人口は増加(H28→H31比較)しており、市民の「子育ての負担感解消」や「定住魅力の向上」に役立っていると見られます。



# 命輝く、子育て支援で ずっと住みたいもりぐちへ

問こども政策課

TEL06-6992-1665

本市では「住んでみたい守口市」、「住み続けたい守口市」と感じていただけるよう、改革と政策創造に努めてきました。とりわけ、子育て世代の移住・定住に向け、その支援に力を注ぎました。国に先駆け0歳児から5歳児までを対象とする「幼児教育・保育の無償化」を実現するとともに、民間認定こども園などの定員増加などにも努め、本年4月には待機児童ゼロを実現できました。

今月からは妊娠期から子育て期まですべての市民と子どもたちを支援する子育て世代包括支援センター「あえる」を市役所3階こども部内にオープンします。「命輝く、子育て支援」に向けてますます努力して参ります。



市立にじいろ認定こども園



ブックスタート事業  
4カ月児健診時に市からプレゼントした絵本を読む親子。健やかな育ちに向け幼いころからの本の読み聞かせ。皆さんからのご寄付による「守口市愛のみのり基金」を活用しています。



児童センターは、小学生以下の子どもが利用できます。小さなお子さんの遊びやお母さんたちの交流、子育て相談にも利用いただいています。

